

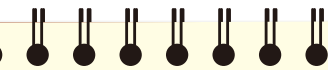
①安楽寺 (志方町細工所631)

もとは真言宗の寺院で弘法大師の弟子・真紹上人が開山しました。長い間山頂にありましたが、天授6(1380)年に山麓に移され、赤松氏の没落後、櫛橋(くしはし)氏によって浄土宗寺院として再建されました。

取材時はまだつぼみでしたが、皆さんが訪れる頃には、参道を彩る桜がやさしく迎えてくれるでしょう。



春風が吹き抜ける境内。桜のつぼみも膨らみ始め、間もなく訪れる満開の季節を静かに待っています。



②志方の城山 (志方町岡)

中道子山(ちゅうどうしさん)城(別名:赤松城)があった山。中道子山城は室町時代に赤松一族が築き、約170年間も続いた東播磨有数の山城。

登山道の途中には山城の遺構が残るほか、頂上には赤松城址と刻まれた碑が建っています。標高は271m。

春風に誘われて、歴史浪漫を歩く
— 志方「中世・戦国時代浪漫コース」

冬の寒さが和らぎ、やわらかな陽光が差し込む季節になりました。今回の特集では、加古川観光協会が紹介する「中世・戦国時代浪漫コース」をご案内します。歴史ある寺院や山城跡、そして春の花々が彩る志方のまちを、ゆったりと歩いてみませんか。



参考・出典：加古川観光協会 観光モデルコース「志方公民館エリア 中世・戦国時代浪漫コース」

4月上旬にはHPでカラー版も公開しますので、是非こちらもチェックしてみてください。

コース内容

志方公民館 (スタート・ゴール地点)

①安楽寺

②志方の城山

③円照寺

④観音寺

志方公民館 (スタート・ゴール地点)



※営業時間等は各施設のHPをご確認ください。

志方公民館 (スタート・ゴール地点)
(志方町志方町1758-3)

旅の起点は、広い駐車場も完備している志方公民館。ここから、志方の歴史と自然を巡る約10kmの散策が始まります。